

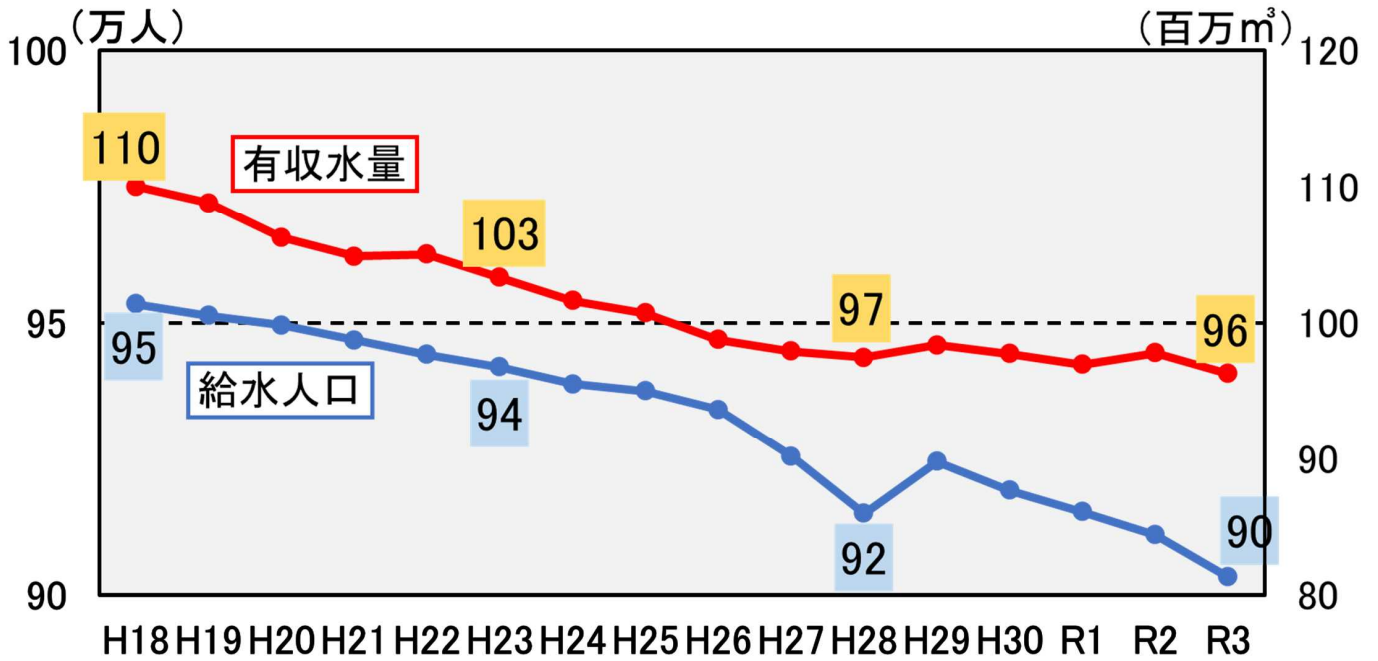
# 奈良県における 県域水道一体化の取組

令和6年12月  
奈良県広域水道企業団

## 1 奈良県の上水道の現状

# 給水人口と水需要

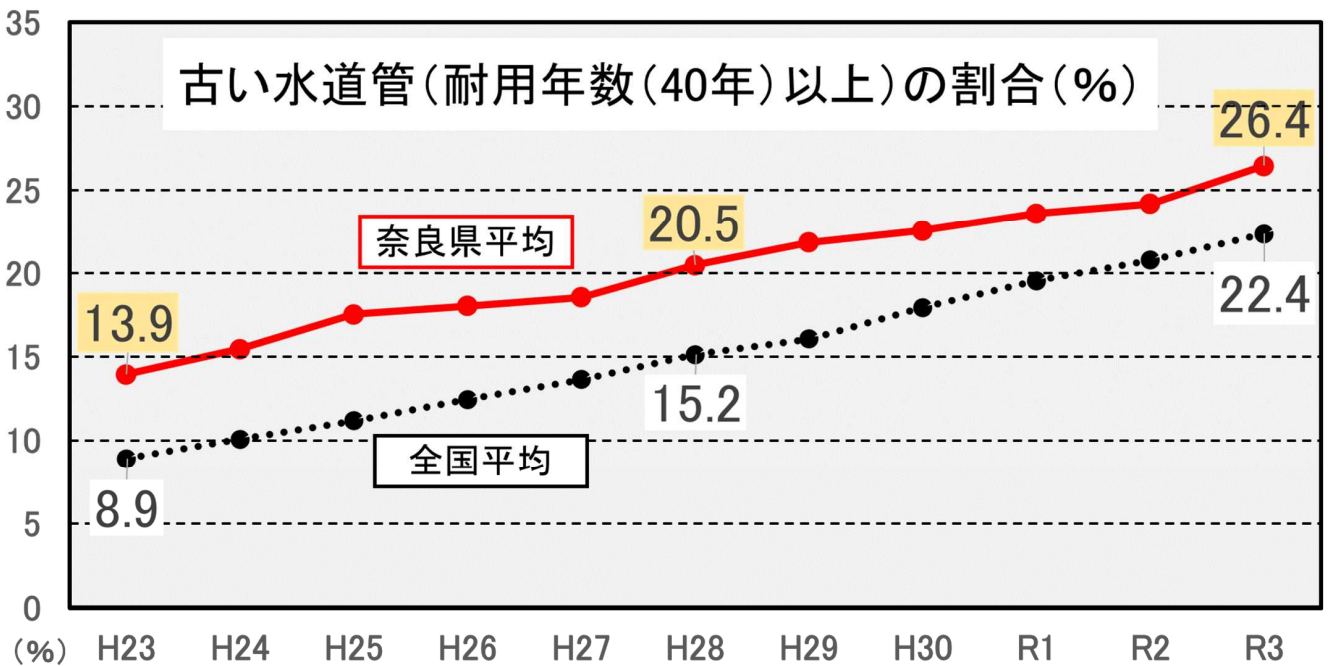
(注)企業団構成団体の集計値



給水人口の減少に伴い、有収水量(=給水収益)も減少

# 水道施設の老朽化

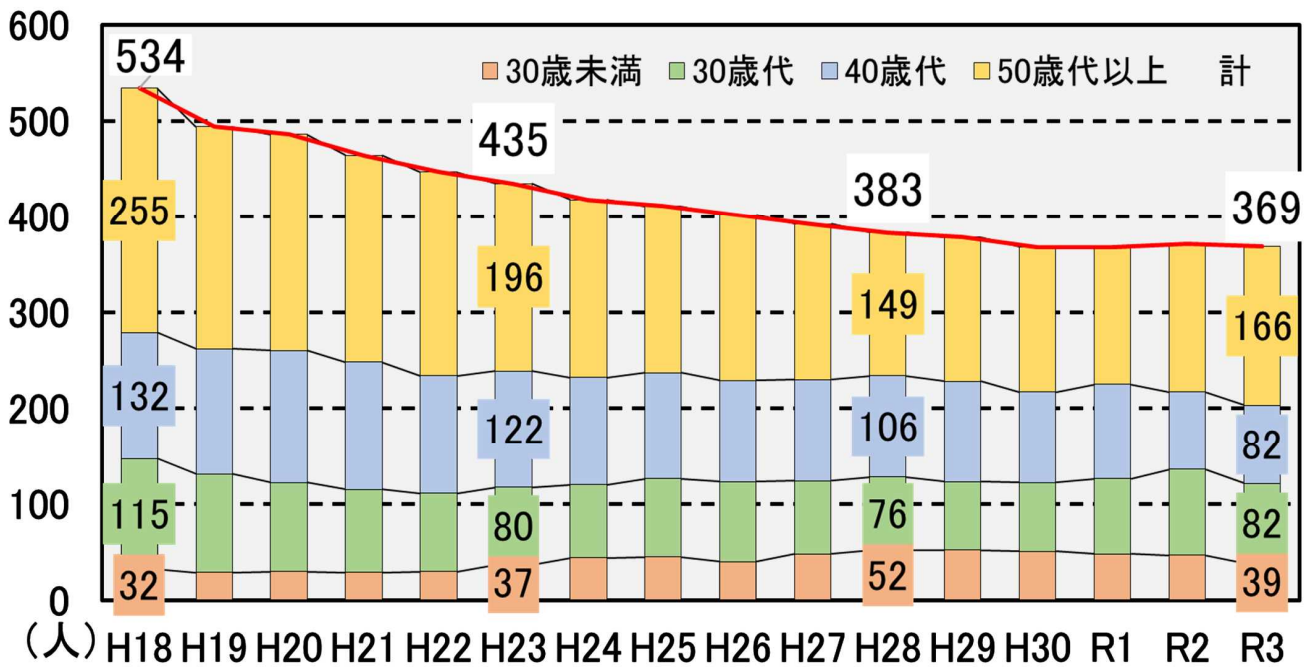
(注)企業団構成団体の集計値



古い水道管の割合は全国平均より高く、老朽化は進んでいる

# 水道事業に携わる職員

(注)企業団構成団体の集計値



熟練職員の退職などにより、**年々減少**

こうした課題は、市町村単独で対処するには  
極めて困難



**連携して広域で対処(県域水道一体化)に向け、  
平成30年度から県と関係市町村とで検討を開始**

## 2 これまでの歩み

時期	取組内容		
H29年10月	県・市町村サミット「県域水道一体化の目指す姿と方向性」提示		
H30年4月	県域水道一体化検討会 発足(県・関係市町村等の部局長・課長)		
R元年10月	水道法の一部改正		
R3年1月	「水道事業等の統合に関する覚書」締結 (県・27市町村・奈良広域水質検査センター組合の長)		
	<table border="1"> <tr> <td>合意事項</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R7年度からの事業統合</li> <li>・統合時に水道料金統一(基本) 等</li> </ul> </td> </tr> </table>	合意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R7年度からの事業統合</li> <li>・統合時に水道料金統一(基本) 等</li> </ul>
合意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R7年度からの事業統合</li> <li>・統合時に水道料金統一(基本) 等</li> </ul>		
8月	奈良県広域水道企業団設立準備協議会 発足 → R6年11月までに12回開催 協議会の下に 実務者による作業部会等、首長による検討部会 設置 → 計170回以上開催		
R5年2月	第6回協議会 基本計画の策定、基本協定の締結(26団体の長)		
R6年3月	第9回協議会 一体化後の大枠に合意 (組織体制、統合後の統一水道料金、施設整備計画等)		
7月	第11回協議会 企業団規約案・基本計画改定案に合意		
9~10月	全関係団体の9月議会 企業団設立のための議案 可決		
10月16日	総務大臣へ 設立許可申請 → 11月1日 許可・設立		

### 3 奈良県の水道広域化の特徴

#### 経営主体・組織

- 経営主体は**企業団(一部事務組合(特別地方公共団体))**
- 構成団体は 県と26市町村

県、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、宇陀市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西長、三宅町、田原本町、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町

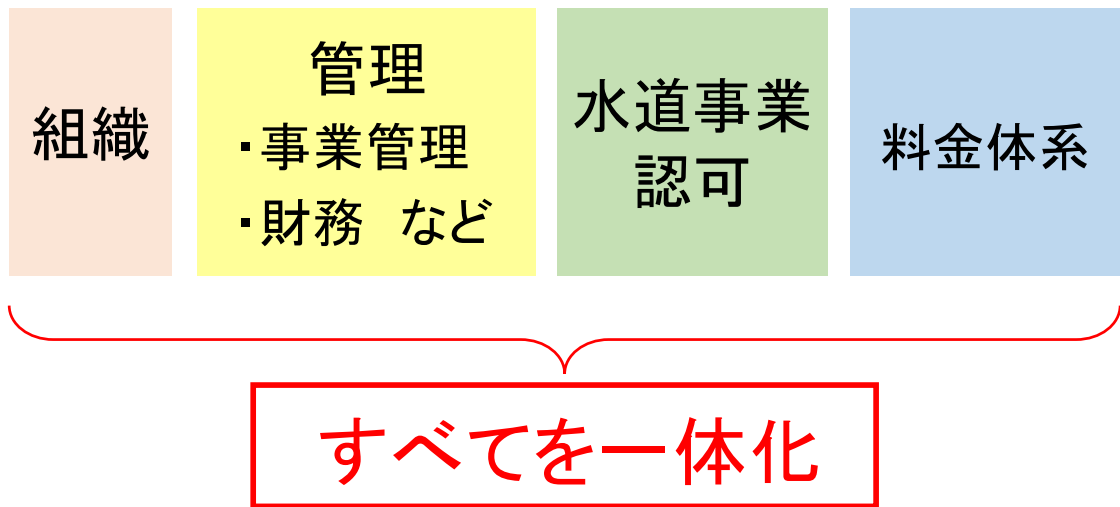
本部は田原本町宮古



- 構成団体が連携**して企業団運営
  - ・全構成団体の長で重要事項を協議する**運営協議会**の設置
  - ・企業団議会の議員は**全構成団体の議会から選出** など

# 統合の形態

## ○統合形態は**事業統合**



# 施設整備

## ○次の3つの観点から施設整備を推進

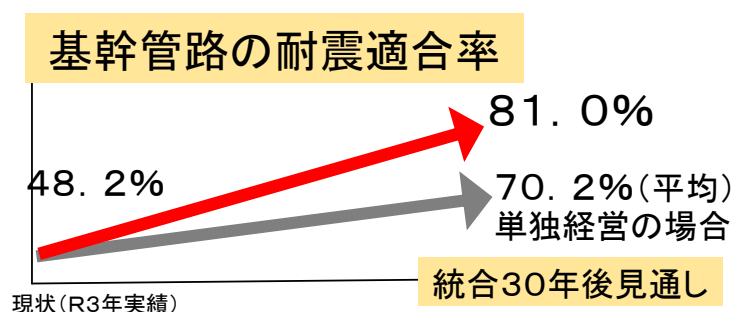
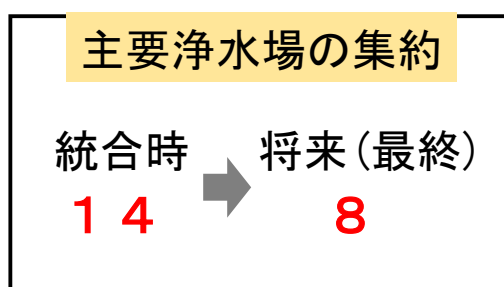
水需要の将来見通し  
に応じた機能を確保

老朽化対策を  
着実に推進

バックアップ機能  
を確保

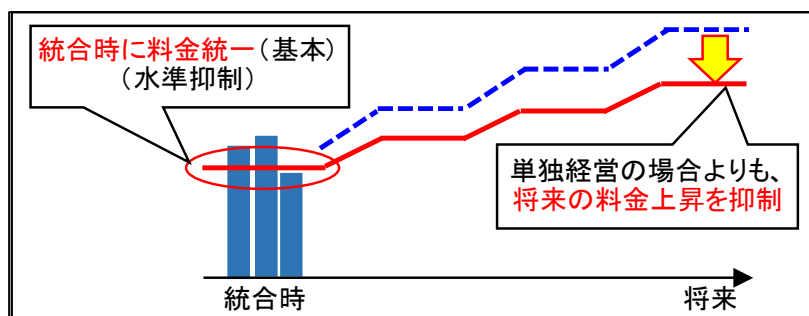
## ○水道施設の広域化に対する財政支援を受け、積極的に推進

- ・国より交付金(事業費の1/3。統合から10年間)
- ・県からも、国の交付金と同額の財政支援(本県独自)



# 水道料金

- **統合時に料金統一（基本）**（令和7年4月から）  
（経過措置、一部地域の別料金設定あり）
- 料金水準は、**5年ごと**に、**財政の健全性が確保**できるように設定されたものであるかを検討。期間中も**毎年度**、財政健全性に支障が生じていないか確認（規約に明記）
- 各市町村が**単独経営を続ける場合よりも**  
**将来の料金上昇を抑制**



## 奈良県広域水道企業団の使命

県と関係市町村が**広域で連携**して、

- **老朽化対策等による施設の強靱化と**
- **必要な収入を確保して財政基盤の強化を図り、**

**安全で安心な水道水を将来にわたって  
持続的に供給**